

分 野	授業科目	単位 (時間)	進 度	担 当	
専門分野	多職種連携と協働	1 (15)	2 年前期	国中優治・林田昂志朗 田中裕貴・井柄涼介 実務経験あり	
科 目 目 的	保健・医療・福祉システムにおける多職種の役割を理解し、連携・協働の必要性について学ぶ。				
科 目 目 標	1. 保健・医療・福祉システムにおける多職種の役割を理解できる。 2. 看護職の専門性から多職種連携・協働における役割について理解できる。 3. 多職種との共同学習により、連携・協働の必要性について考えることができる。				
単 元 名	教 育 内 容	時間	教育方法	担 当	
1. 保健・医療・福祉専門職の役割	1) 医療・介護現場におけるこれからのニーズと実際 2) 医療福祉専門職の役割の本質とは (ライフスタイルの提案)	2	講義	林田	
2. 多職種連携・協働における看護師の役割	1) 看護師からみる保健・医療・福祉システム 地域包括ケアシステムの理解 熊本 MCS (medical care system) 地域医療を支える訪問看護 地域医療と街づくり 2) 多職種連携・協働における看護師の役割～地域医療と病院を通して～ 高度急性期病院と地域医療の比較 他職種連携と看看連携 コロナ禍への対応 看護業界のダイバシティ構想	4	講義	田中	
3. 連携・協働の理解	3) 保健医療福祉領域における看護師のキャリア形成 ～弊社看護師の実例を通して～ 専門職に求められるパラレルスキル 医療介護における DX 推進の取り組み 専門職としてのキャリアをどう描くか スペシャリストとジェネラリストの考え方	4	講義	井柄	
	2) 「関わり方」のサイエンス 他者を理解するために ミラーニューロン 人が好意に思う脳のメカニズム チームを強化するための科学 コミュニケーションの科学 グループワークにて在宅医療のシミュレーションを図る 患者のライフワークやニーズを想像し、ライフワークとしての目標設定をアセスメントする	4	講義 GW	国中	
4. 試験・まとめ	まとめ	1			
テキスト／その他の教材	系統看護学講座「地域・在宅看護の基礎」「地域・在宅看護の実践」(医学書院)				
評 価 方 法	筆記試験 (60 点) グループワーク (40 点) 等から総合的に評価する。				